

平素より美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 本号では、3月から行っている基準点測量・水準測量についてお知らせします。
 基準点・水準測量は、地形測量などに必要な位置（緯度・経度）と高さ（標高）の
 基準となる点（杭・鋳）を計画ルート付近に設置するものです。この測量は、道路な
 どの官地上で行うため、原則、民地への立ち入りは行いません。

基準点測量

「わし山」、「茶臼山」などに設置されている国家基準点を基に、県道津山柵原線や、町道などに測量鋳や杭を打込み、新しい基準点を設置します。基準点測量は人工衛星を利用したGPSにより行います。

○山頂付近に設置されている基準点（例）



○新しく設置した基準点（例）



水準測量

「鷺橋」などに設置されている水準点を基に使い、県道津山柵原線や、町道などに測量鋳や杭を打込み、新しい水準点を設置します。

○河川に設置されている水準点（例）



○新しく設置した水準点（例）



基準点・水準測量の工程

基準点・水準測量を行う測量業者（株式会社 オ-エス-）が、平成30年3月5日より現地調査を行っています。測量は下記の予定により実施しますので、ご協力をお願いします。

【測量作業予定表】測量期間：平成30年3月5日～平成30年7月31日

業務項目	3月			4月			5月			6月			7月		
	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31
現地調査	3/5														
基準点測量															
水準測量															7/31

* 測量期間は現地での作業の他、資料整理などの業務も含まれます。

公開質問状に回答します

平成30年1月24日付けであった「高規格道路をみんなで考える会」からの公開質問状に対して回答します。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

質問①：回答書には「経済性や交通安全上の課題などを総合的に検討した」とありますが、建設費用などの積算根拠の情報開示を求めてもその情報は開示されない。そこで行政文書不開示処分取消訴訟を起こしたが、住民に理解を求めるといならば少なくとも司法判断を待ってから測量に入るべきだと考えますがいかがでしょうか。

回答①：貴会が提訴した内容は、行政文書を一部不開示とした県の決定を不服としたものであり、県は岡山県行政情報公開条例に基づき、開示すべき情報をすべて開示したものと考えています。測量の実施については、8割を超える地権者から立ち入りの同意が得られたことなど、総合的に判断したものです。

【回答①の補足】

岡山県行政情報公開条例に基づき「非開示」としている主な項目

- ・「個人に関する情報」
写真中の個人の顔、車のナンバープレート、家屋、受注者側の名前 等
- ・「法人に関する情報」
法人の事業活動情報、法人から提供を受けた単価 等
- ・「公にすることにより、不当に県民の間に混乱を生じさせるおそれがあるもの」及び
「公にすることにより、適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの」
用地費及び補償費の単価、用地買収範囲が特定される情報 等

質問②：回答書には「美咲町長や町議会議員からも地域の振興や発展を図るためには、飯岡地区へのインターチェンジ設置も含めた早期の整備が必要・・・」という要望があがっているとあります。地域振興のためという理由で住民理解を求めるとであれば、インター設置時の地域振興計画を具体的に提示することが住民に対する責任であると考えますがいかがでしょうか。

回答②：具体的な地域振興計画については、地元自治体の美咲町が考えるものでありますが、昨年度、町主体で「10年後の飯岡地区を考える」をテーマとしたワークショップを開催し、インターチェンジを活用した地域振興について、地域の方からいろいろな具体的アイデアが生まれています。町では道路計画が具体化する過程の中でこれらのアイデアなどを基に地域振興策の検討を行う予定であり、県も可能な協力を行っていくこととしています。

【回答②の補足】

ワークショップで出た主なアイデア（美岡だより 第15号、16号、特別版に掲載）

- ・道の駅などの特産品や新鮮野菜が売れる場所の整備
- ・コンビニなど生活の買い物が気軽にできる場所の整備
- ・企業誘致など若い人が働きやすい環境づくり
- ・子どもが自由に遊べるプレーパークの整備
- ・定年後の方も働くことができる場所の確保 など

質問③：回答書には、「インターチェンジは広域的な交流の促進や大規模災害時の・・・」とありますが、柵原インターがなくても美咲町全体の交流促進や災害時の対応には吉井インターや英田インターで十分機能します。柵原インターが時間的及び機能的に必要な不可欠であるという根拠を明示するべきだと考えますがいかがでしょうか。

回答③：美作岡山道路は、山陽自動車道と中国縦貫自動車道と一体となって広域交通網を形成し、各市町にインターチェンジ（以下、IC）を設置することで地域相互の交流促進、沿線地域の振興・活性化に大きく寄与する道路です。またICは、大規模災害時の緊急輸送道路や救急車による搬送の拠点となります。

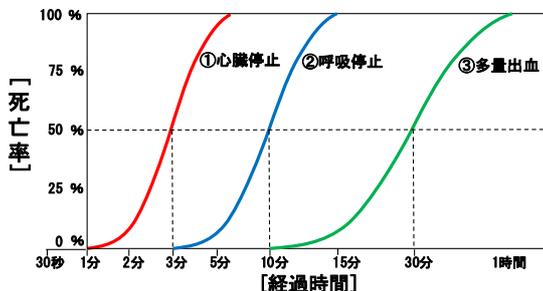
【回答③の補足】

○柵原ICが出来ることによる効果（美岡だより第3号、4号、10号に掲載）

- ・岡山津山方面等への通勤通学の負担軽減による定住化促進
- ・大規模災害時の緊急輸送道路の確保
- ・津山中央病院までの救急搬送時間の短縮 など

<参考：飯岡地区から救急搬送する場合のルート（一例）>

- ・現 状：飯岡 → 津山柵原線 → 津山中央病院 (約 29 分)
- ・柵原IC利用：飯岡 → 柵原IC → 津山中央病院 (約 20 分)
- ・英田IC利用：飯岡 → 国道 374 号 → 英田IC → 津山中央病院 (約 26 分)



緊急事態における時間経過と死亡率の関係

柵原ICがなく、英田ICを利用して救急搬送する場合飯岡地区から津山中央病院までの所要時間は約26分かかり柵原ICを利用するより約6分、余分に時間を要します。

左図は「カーラーの救命曲線」といい、命に危険がある病態（心臓停止、呼吸停止、多量出血）において時間経過と死亡率の関係の目安を表したもので、事態が重大な場合には、一刻も早い病院への搬送が必要となります。

質問④：回答書には「内水対策や地域分断・・・交通事故対策などについては詳細な測量が必要」とありますが、流水量や浸水状況の予測にミリ単位の測量は必要がない。ましてや地域分断や交通事故対策に測量する必要は全くないと考えますがいかがでしょうか。

回答④：測量の実施については、8割を超える地権者から立ち入りの同意が得られたことなど、総合的に判断したものです。内水対策の検討については、詳細な測量により現地の高さなどを測り、道路構造や側道、用水路の付替計画などについて決定し、内水に対する道路の影響を確定させる必要があります。また、地域分断や交通安全対策についても、高架構造への変更や交差点周辺の計画など具体的な検討を行うためには詳細な測量が必要となります。

【回答④の補足】

現在お示ししている図面は、精度の荒い地形図を使用して作成したものであり、地形や建物の位置などは現地と異なる場合があることから、道路設計で地元協議などに用いる図面には適していません。このため実際に現地を測量し、詳細な図面を作成する必要があります。

